

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	小鳩ナーサリースクール中馬込
施設所在地	大田区中馬込2-2-18
法人名	株式会社チャイルドピース

1. 活動のテーマ

<テーマ>

コーナー遊びで広がる子どもの興味や関心

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

本園では今年度、園内研究のテーマを「絵本を通して想像力をふくらませ、豊かに人や物と関わる子ども」とし、子どもの興味や関心に応じて遊びが展開できるよう、絵本コーナーをはじめ、コーナー遊びの環境の充実に取り組んでいます。今回のすくわくプログラムでは「絵本」「製作」「ごっこあそび」「表現」「音楽」などでの遊びの広がりに着目し、人や物と豊かにかかわる子どもの育ちを支えるきっかけとなるよう、本テーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

【5歳児：1月・2月、コーナーの活動】

- ①継続して図書館に出向き、子どもの興味関心がある絵本を借り、絵本を身近なものにしていく。絵本の扱いをしやすいように絵本棚の充実や、本が広げられるようソファや椅子を置き、心地よい空間をつくる。(1月)
- ②子どもがイメージをふくらませ、劇遊びに発展させられるような絵本を読み聞かせる。(1月、2月)
- ③各コーナーを設置する。子ども達同士での遊びの広がりを共有し、遊びの発展に応じた素材や教材を子ども達と一緒に話し合い準備する。(2月)
- ④パーテーションを設置するなどして、自分達で作ったものや劇ごっこなど自由に表現する場を設ける。(2月)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材やを道具)

- ・自由に絵本が見られ、落ち着いて過ごせる絵本コーナーを設定する。
- ・自分達がイメージしたことを、劇遊びや表現遊びで楽しむ。
- ・フェルト、折り紙、不織布、布、紐、テープ、廃材、テープ類などで、衣装や小物、小道具など必要な物をみんなで作って準備する。
- ・製作したものを、友達と共有して楽しめるようテーブル、巧技台など舞台の場所を準備する。
- ・衣装などを飾ることのできる広い場所を設ける。
- ・各コーナーで楽しめるよう、パーテーションを使った環境を構成する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・子ども達が絵本を見たり聞いたりして経験してきたことを、空想の世界として楽しみ、子ども達が衣装や小道具が作れるよう、フェルト、折り紙、不織布、布、紐、テープ、廃材、テープ類など準備しコーナーの充実を図る。
- ・製作したものを友達と共有して、空想の世界を表現して楽しめるようテーブル、巧技台を使い、自由に舞台を作れるような場所を準備する。
- ・音楽が流れることで更にイメージが広げられることを想定し、舞台に楽器、CD、アイポット、CDラジカセを準備し、さらにごっこ遊びが楽しめるようにする

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・衣装や小道具が製作しやすいように製作コーナーを充実させたことで、自分のイメージしたことを劇や表現遊びで楽しみ、必要なものをそれぞれが作っていた。「本物のトラみたい!」「これ着て演じたらいいね」など、自分の意見を伝え、友達の見解を取り入れながら工夫して取り組んでいた。
- ・パーテーションを利用して舞台を準備すると、絵本の中の遊びをごっこ遊びの中で発展させるなどして遊びが広がっていた。製作する中で次々にアイデアがふくらみ、「ペープサートやってみたい」「体が隠れるくらいの高い台が欲しい」など、イメージが実現するための工夫をそれぞれ考え出していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・絵本の世界から子ども達がイメージしてきたことをごっこ遊びに展開させたり、さらに遊びが広がるような衣装や小物などを子ども達が製作したりして遊ぶ姿があった。子どもの興味関心をとらえ、コーナーの内容を充実させることで、子どもの発想、気づきが多くうまれていた。また自ら創り出そうとする力や、仲間と一緒に試行錯誤しながら遊ぶ楽しさが、一人一人の大きな成長につながると感じた。遊びの中で、様々な学びや気づきが培われていることを改めて知ることができた。今後も、子ども達の興味関心に応じた環境を充実させながら活動を展開できるようにコーナー遊びの充実を図っていく。